

科目名 (科目番号)	輸血・移植検査学 (102281)	教員名 藤田 和子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		水3 4	B203研究室	
授業概要	安全な輸血医療を実現するために必要な基礎知識、および、検査の方法から適正な血液製剤の供給方法までの正確な知識を習得する。その上で必要な輸血の概念、輸血医学の歴史、必要な検査から輸血実施までの流れ、抗原・抗体・補体と抗原抗体反応、遺伝、血液型の種類と分類について解説する。また、移植について、移植の種類、拒絶反応についても学習する。						
準備学習	毎回の授業について、少なくとも1時間程度の予習復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	輸血療法について	到達目標: 輸血療法の概念、歴史、目的、輸血の種類を理解する。 学習内容: 輸血療法の概念、歴史、目的、輸血の種類を学ぶ。				
	2	ABO血液型-1	到達目標: ABO血液型抗原について、説明できる。 学習内容: ABO血液型抗原の構造と発達、遺伝と出現頻度、特徴について学ぶ。				
	3	ABO血液型-2	到達目標: ABO血液型検出法について、説明できる。 学習内容: ABO血液型判定検査方法、亜型や糖転移酵素を用いた検査について学ぶ。				
	4	Rhその他赤血球血液型	到達目標: 不規則性抗体出現について理解する。 学習内容: Rh血液型、その他の血液型について意義、出現頻度など学ぶ。				
	5	不規則抗体検査	到達目標: 不規則性抗体について、説明できる。 学習内容: Rh血液型などの血液型抗原に対する不規則抗体検出法の原理、方法などを学ぶ。				
	6	交差適合試験	到達目標: 交差適合試験について、説明できる。 学習内容: 交差適合試験の目的と原理、を理解し、交差適合試験の方法を学ぶ。				
	7	輸血副作用	到達目標: 輸血後副作用について、説明できる。 学習内容: 輸血副作用について、原因と機序、症状を学び、減らすための検査を理解する。				
	8	自己免疫性溶血性貧血と新生児溶血性疾患	到達目標: 溶血性疾患を理解し、抗体検出法を説明できる。 学習内容: 溶血性疾患の発症機序を学び、原因抗体検出法を理解する。				
	9	自己血輸血	到達目標: 自己血輸血について、説明できる。 学習内容: 自己血輸血の長短所、適応と禁忌、種類と特徴、実際の採血方法と貯蔵法などを学ぶ。				
	10	適合血の選択-1	到達目標: 適合血の選択について、説明できる。 学習内容: T&S、高頻度抗原陰性者や抗体保有者などへの輸血、緊急時輸血について学ぶ。				
	11	適合血の選択-2	到達目標: 適合血選択時におけるルールについて、説明できる。 学習内容: 輸血に必要なインフォームドコンセント、輸血の選択基準、チーム医療について学ぶ。				
	12	血小板抗原と血小板抗体検査	到達目標: 血小板抗原と血小板抗体検査、関連疾患について説明できる。 学習内容: 血小板抗原の種類と抗体による疾患を学び、血小板抗体の検出法を理解する。				
	13	臓器移植・造血幹細胞移植	到達目標: 臓器移植・造血幹細胞移植について、説明できる。 学習内容: 臓器移植での拒絶反応と造血幹細胞移植の適応疾患、必要な検査について学ぶ。				
	14	HLA検査	到達目標: HLA検査について説明できる。 学習内容: HLA検査について、種類と原理、方法を学び、文化人類学への応用を理解する。				
15	輸血業務に関する法律・その他	到達目標: 輸血業務について、法律的に決められていることを説明できる。 学習内容: 輸血業務について、法律に基づいた管理方法を学び、チーム医療の大切さを知る。					
成績評価の方法・基準	定期試験(100%)						
教科書	輸血・移植検査技術教本		社団法人日本臨床検査技師会		丸善出版		
参考図書	スタンダード輸血検査テキスト 第3版		認定輸血検査技師制度協議会 カリキュラム委員会 編		医歯薬出版社		
教員からのメッセージ	輸血検査は人命に関わる大切な検査です。免疫学の上に成り立っている学問でもあるので、しっかりとした免疫学的基礎の上に輸血学の知識を重ねれば、人の役に立つ仕事であることが実感できます。						